

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

○1月観光情報

【光の花の庭 フラワーファンタジー2023】

東日本最大級500万球を超えるイルミネーションに彩られた幻想の世界。夜景観光士が選ぶイルミネーションランキングでは7年連続で全国1位に輝きました。

100,000㎡の園内に500万球を超えるイルミネーションが瞬き、訪れる方々に毎年心温まる感動を与えています。

「光の花手水」や「光のバラ園」がパーク内を華やかに彩り、「光に包まれるフラワーキャッスル」もその鮮やかかつ繊細な光で訪れた人たちに大きな感動を与えます。神秘的な大藤棚も花びら一枚一枚をイルミネーションで再現しており、その美しさに、期間中は連日SNS等への写真の投稿が相次ぎます。

※期間・時間は変更の可能性がございます

日 時:10月18日(水)～2月14日(水)

(平日)午後3時30分～午後8時30分

(土・日・祝)午後3時30分～午後9時

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町607)

料 金:(夜間料金) 大人1,300円、小人700円

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で3分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約30分

北関東自動車道足利ICより車で約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより車で約18分

問合せ先:あしかがフラワーパーク ☎0284-91-4939

【滝流しの式】

「滝流しの式」は、大岩山毘沙門天での悪口祭り^{あくたい}が終わり、元日の0時になると、国家の安泰、家内安全、商売繁盛をはじめとした諸願成就の大護摩の祈願を行います。

お神酒を「滝のように」額から受け大盃で飲み干すことで福やご利益が滝のごとく尽きないようにと執り行う儀式で、江戸時代前期の寛永年間(1624～1643)に始まったと伝えられています。

例年、参加者は毘沙門天の前に正座し、直径30センチ以上もある大きな朱盃を口にあてます。そこへ酒器を持った住職が祈願者の額から御神酒を注ぎ、額から鼻へと滝のように御神酒が流れ朱盃へ注がれていきます。自分が飲める量が朱盃に入ったら左手をあげて合図。住職が御神酒を注ぐのを止めるのと同時に祈願者は朱盃に入った御神酒を一気に飲み干します。願い事や無病息災を叶えたいと毎年祈願者が絶えません。

また、毎年1月1日6時50分頃、元旦の日の出とともに「初日の出遥拝式」も行います。

ご自由にご参加いただけます。

「滝流しの式」

日 時:1月1日(月) 0時～

「初日の出遥拝式」

日 時:1月1日(月) 6時50分頃(日の出とともに)

「新春護摩修行」

日 時:1月1日(月)～3日(水) 6時、8時、10時、13時、15時 毎回ご祈願を受け付けています。

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

場 所:大岩山毘沙門天(大岩山多聞院最勝寺)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

JR両毛線足利駅より車で約25分

JR両毛線山前駅より車で約15分

北関東自動車道足利 IC より車で約30分

北関東自動車道太田・桐生ICより車で約40分

問合先:大岩山多聞院最勝寺 ☎0284-21-8885

【足利織姫神社歳旦祭(初日の出を拝む会)】

足利織姫神社では、例年、1日午前6時30分より威勢の良い奉納太鼓の音とともに初日の出を拝む会を執り行います。

日 時:1月1日(月) 午前6:30～

場 所:足利織姫神社境内(西宮町3889)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約20分

JR両毛線足利駅より徒歩で約20分

北関東自動車道足利 IC より車で約15分

問合先:足利織姫神社奉賛会事務局(足利織物会館内) ☎0284-22-0313

【足利七福神めぐり】

足利は古くから織物のまちとして栄え、商売が盛んに行われてきました。

そのような歴史風土のなかで、まちの繁栄と家運の隆昌、健康増進はかつてから足利の人々の願いでした。これを受けて、昭和17年から始まった『足利七福神めぐり』。戦時中は中断しましたが、昭和62年のお正月に復活し、現在の協力社寺は18か所となっています。

名所旧跡や、豊かな自然、歴史を感じることができる『足利七福神めぐり』。皆さんもぜひ巡ってみませんか？

コースは、東西約17.5km、南北約14kmの範囲内に関係社寺18社寺が点在しています。太平記館を起点にした各社寺まで概ねの距離をご案内します。

また、最短距離で巡れる市街地内の七福神めぐりは、一周約8km、徒歩で約3時間です。下記の＜市街地七福神巡り徒歩コース＞をご覧ください。

太平記館…3.8km…徳蔵寺(三面大黒天)、太平記館…4.3km…正善寺(弁財天)

太平記館…7.1km…大岩山多聞院最勝寺(毘沙門天)

太平記館…13.9km…名草巖島神社(弁財天)

太平記館…0.4km…伊勢神社(寿老人)、太平記館…1.95km…龍泉寺(布袋尊)

太平記館…4.5km…萬福寺(恵比寿神)

太平記館…9.1km…寺岡山元三大師(毘沙門天)【富田駅から1.5km】

太平記館…2.2km…總社八雲神社(大黒天)

太平記館…8.0km…東光寺(大黒天)【小俣駅から1.3km】

太平記館…2.8km…吉祥寺(弁財天)

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

<市街地七福神巡り徒歩コース>

太平記館…0.35km…大黒天(鑊阿寺)…1.2km…寿老人(心通院)…0.4km…

弁財天(本城巖島神社・明石弁天)…2km…福祿寿尊(長林寺)…0.7km…恵比寿神(西宮神社)…1km…毘沙門天(常念寺)…0.29km…布袋尊(福巖寺)…2.0km…太平記館

また、今年も足利七福神めぐりスタンプラリーが開催されます。太平記館等でスタンプラリー台紙をお渡しいたしますので、その台紙に七福神社寺のスタンプをお集めください。年の初めの足利七福神めぐり、是非お楽しみください。

期間中は、御朱印をいただける寺社もあります。合わせて御朱印めぐりもお楽しみください。

日 時:1月5日(金)～1月28日(日)

場 所(スタンプラリー台紙お渡し・応募先):太平記館(足利市伊勢町)

交 通:JR両毛線足利駅より徒歩で約5分

東武足利市駅より徒歩で約10分

北関東自動車道足利ICより車で約15分

北関東自動車道太田桐生ICより車で約30分

東北自動車道佐野藤岡ICより車で約30分

問合先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

【厄除け】

足利の厄除け大師では、新年に厄除け大祭を行います。

☆寺岡山元三大師(薬師寺)

新年、寺岡山元三大師では、皆様の厄除け・開運成就を願い寺岡山元三大師正月大祭を開催いたします。

奈良朝の頃に建立されたといわれ、崇保院宮一品公寛法親王の御真筆である日本に三幅しかない(他は比叡山延暦寺、東叡山寛永寺)元三慈恵大師尊影の御掛け軸を安置する祈願寺です。

※日程などは変更になる可能性がございます。

日 時:1月1日(月) 午前0時 御本尊御開帳・一番大護摩祈願(住職大導師)

1月2日(火)・3日(水)午後12時 福運お種子銭まき式

1月1日(月)・2日(火)午後12:30 無料子供くじ引き

1月3日(水) 秘仏降魔大師坐像特別ご開帳

場 所:寺岡山施薬院薬師寺(足利市寺岡町)

交 通:JR両毛線富田駅より徒歩で15分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

北関東自動車道足利ICより車で約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより車で約20分

問合先:寺岡山元三大師 ☎0284-91-3236

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

☆足利厄除大師大祭(龍泉寺)

助戸龍泉寺では、新年に厄除大師大祭を行います。

角大師と呼ばれるお姿は、「我が影像を置くところに悪魔・災厄がない」とされ、正月にそのお札を門戸に貼る信仰が生まれました。

足利厄除大師大祭は開山以来の行事で800年以上の歴史を持ちます。縁起ガラマキ式やダルマ市は大勢の人で賑わいます。

※日程などは変更になる可能性がございます。

日 時:厄除祈願 1月1日(月)～2月3日(土)

一年の厄を払い平穏な一年を祈願します。

参拝者へ「疫病退散の角大師門札」を本堂にて授与致します。

ダルマ市 1月2日(火)・3日(水) 午前9時～午後5時

福授け縁起ガラマキ式 1月2日(火)午後1時～ 1月3日(水)午前11時～・午後3時～

場 所:龍泉寺(足利市助戸1丁目)

交 通:JR両毛線足利駅より車で約5分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約7分

北関東自動車道足利ICより車で約7分

問合先:龍泉寺 ☎0284-41-5685

☆宝性寺(堀込薬師)

堀込薬師 宝性寺では元旦からの4日間、大護摩厳修を執り行います。特に毎年1月4日は「厄除大祭(お薬師様のご縁日)」として、境内に露店が出て1万人近い参詣者で賑わいます。

堀込薬師には八木節を全国に広めた堀込源太のお墓があり、その墓前にて、地元堀込町八木節保存会の皆様による八木節の奉納が行なわれる予定です。

※日程などは変更になる可能性がございます。

日 時:大護摩厳修 1月1日(月)～1月3日(水)午前9時～午後4時

1月4日(木)午前8時～午後4時 大護摩厳修「厄除け大祭(お薬師様のご縁日)」

1月5日(金)～1月8日(月)午前9時～午後4時

1月9日(火)～1月14日(日)午前10時～午後3時 年頭祈願

場 所:宝性寺(足利市堀込町)

交 通:北関東自動車道足利ICより車で約20分

北関東自動車道太田桐生ICより車で約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより車で約40分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約7分

JR両毛線足利駅より車で約10分

問合先:宝性寺 ☎0284-71-2743

【まゆ玉市】

まゆ玉市は、虚空蔵菩薩を祀るこの寺で、1739年に虚空蔵堂を修復した時から始まったといわれます。昔は、「蚕や繭が育ちますように」と養蚕家のための行事でしたが、織物産業が盛んになると「家業

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

がますます繁盛しますように」と商売繁盛を願うようになり、参道では「まゆ玉」が売られるようになりました。参道には「まゆ玉」の他にも出店があり毎年大勢の人で賑わいます。

日 時:1月13日(土)午前9時～午後7時頃 (毎年同日開催)

場 所:徳正寺(足利市本城3丁目)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約10分

JR両毛線足利駅より車で約10分

北関東自動車道足利ICより車で約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより車で約35分

問合先:徳正寺 ☎0284-21-5797

【御筒粥(おつつがゆ)】(足利市指定 民俗文化財)【開催予定】

御筒粥(おつつがゆ)は、その年の作物の豊凶を占う珍しい神事です。氏子たちが大きな釜で粥を炊き、その中に葦の筒を入れ、筒の中に入った米粒・小豆等の入り具合でその年の農作物の豊凶を占います。

占いに使われた小豆粥を妊婦が食べると“安産”になるといわれ、今でもこの粥を妊婦に食べさせる風習が残っています。

日 時:1月14日(日) 午後1時～

場 所:御厨神社(福富町)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより車で約25分

東北自動車道佐野藤岡ICより車で約30分

問合先:小堀宮司 ☎0284-71-0739

花 情 報

開花時期は、気候等により若干前後する場合がありますので、お問合せのうえお出かけください。

問合先:一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

足利市観光まちづくり課観光・ロケツーリズム担当 ☎0284-20-2165

あしかがフラワーパーク ☎0284-91-4939

【ろう梅】

新春にかおり高い花を咲かせるろう梅は、黄色い蠟細工のような花が印象的です。

時 期:1月上旬～3月上旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)、鑿阿寺

【冬ボタン】

冬に咲くボタンは、雪囲いがされ、可愛らしい印象です。雪ん子のようにも見えます。

時 期:1月中旬～2月下旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

「観光まちづくり課(観光協会提供)」

【寒椿・寒紅梅】

冬の冷たく乾いた空気を変えてくれる寒紅梅、春への一步を感じさせてくれる可愛い花をお楽しみください。

時 期:1月中旬～2月下旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

【福寿草】

早春に黄色い花を咲かせることから、江戸時代には、一番に春を告げるという意味で「福告ぐ草(ふくつぐそう)」と呼ばれていたそうです。

時 期:1月下旬～3月上旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

体 験

【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」の公演資料をご覧頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。(八木節の実演は10名以上の団体様で、事前予約をお願いしております。)

場 所:八木節会館(福居町580-1)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

交 通:東武伊勢崎線福居駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより車で約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより車で約20分

問合先:足利八木節連合会 ☎0284-71-1214

【年末年始(12月29日(金)～1月3日(水))の施設情報】

施設 \ 期日	29 (金)	30 (土)	31 (日)	1 (月)	2 (火)	3 (水)	問合先
太平記館	—	—	—	○	○	○	0284-43-3000
足利観光交流館(あし・ナビ)	○	○	○	△	○	○	0284-73-3631
足利まちなか遊学館	—	—	—	—	—	—	0284-41-8201

営業時間: ○・・・午前9時～午後5時 / △・・・午前10時～午後5時 / —・・・休業